

# 会 議 録

## 1 会議名

令和6年度 第5回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告（公開）

ファシリテーション研修、正副会長意見交換

### （2）協議（公開）

自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

- ・「(仮称) さとまるバスの運行による検証事業」について
- ・「子どもの い～場所開設事業」について
- ・視察研修の行先（目的）と時期について

### （3）その他（公開）

なし

## 3 開催日時

令和6年8月26日（月） 午後6時から午後7時45分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、陸川陽一（副会長）、尾崎公子、桐山和樹、坂田俊介、高橋達也、竹内昭彦、村越勝彦、陸川昇一、欠席3名
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長、丸山市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、高橋産業建設業務窓口班

長、早川税・市民生活班長、渡部福祉班長（以下、グループ長はG長と表記。）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【竹内（靖）会長】

会議録確認を坂田俊介委員と高橋達也委員に依頼。

報告に移る。ファシリテーション研修、正副会長意見交換について、私と陸川（陽）副会長が出席した。長丁場の研修であったが、内容は充実していた。私は別のファシリテーション研修に参加する機会があったため、新しく学ぶ内容はなかったが、初めて受講した他区の地域協議会委員もいて、すぐに変化があるということではないが、会議を進める手段を学ぶ良い機会であった。正副会長意見交換会は、意見交換というよりも、行政への意見が多かった。区によっては行政に頼りすぎているように感じた。行政を批判する発言もあり、その考えにとどまっているようでは、その区の地域協議会も良くなれないと思う。行政と協働するという考え方と、自分たちが地域を築いていくという考え方で進まないとその区が繁栄する未来は見えないと感じた。委員も他区の地域協議会委員と話をする機会はあると思うが、それに感化されず、中郷は中郷らしくやっていくという考えを持っていただきたい。行政と協働しながら、自分たちの区は自分たちで創るという考えを持って活動していただきたい。

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、地域協議会が提案した地域独自の予算事業2件のうち、最初に「(仮称) さとまるバスの運行による検証事業」について、事務局に説明を求める。

### 【桐山班長】

資料 No1 に基づき説明。

### 【高橋委員】

令和7年度に向けて県の補助金の申請を行ったということか。

### 【桐山班長】

令和6年度の準備に係る経費の申請である。

### 【高橋委員】

令和7年度の予算規模が分からない中で、準備を行っているということか。何の準備をしているのか明確でないように感じる。令和6年度上半期に行った検証運行にかかった経費の申請という認識で良いか。

**【桐山班長】**

互助による輸送を令和7年度から始めるのにあたり、中郷区まちづくり振興会が令和6年度の準備にかかる経費への補助である。具体的な申請金額は資料No1の通りである。

**【高橋委員】**

令和7年度に向けた事前の準備にかかる経費の半額を申請したということが良いか。どんな準備をしているのかは不明である。

**【竹内（靖）会長】**

資料No1の通り、交通空白地有償運送新任運転者講習など令和6年度中にやらなければならないことの経費の半額の申請である。

**【高橋委員】**

令和6年度に行う準備に係る経費についての申請であることは承知したが、令和7年度の事業内容が明確になっていないため、認識を統一するべきでないか。

**【竹内（靖）会長】**

令和7年度は、中郷区まちづくり振興会が主体となって互助による輸送をすることが明確になっている。それに伴う運行ルートなどの検証を、今年度中郷区さとまる学校が受託して行っているところであり、今後も練っていく。

**【高橋委員】**

令和7年度に発生する経費は、全額市が負担できるのか確認しておくべきでないか。ある程度は理解しているが、新委員は特にイメージしにくいのではないか。

**【竹内（靖）会長】**

次回予算案が出てくるのではないかと思うが、金額については、今はおおまかなもので良いのではないか。運行に係る事項については、これまでの説明通りの内容で進んでいる。

**【高橋委員】**

令和7年度にかかる経費の総額は、事業の規模として示す必要があるのではないか。

**【桐山班長】**

予算規模に関わらず、互助による輸送に必要な費用は全て市が支援する。地域協議会で予算規模についての協議はしない。地域協議会では、運行内容について

の協議を進めてきた。4月から6月に互助による輸送で取り入れるべき事項の検証運行、その結果を中間まとめとして整理し、整理したものを令和7年4月からの互助による輸送の運行を受託予定の中郷区まちづくり振興会に伝え、現在、検討を進めているところである。中郷区まちづくり振興会と市による、互助による輸送に必要な最適額についての協議は今後も行っていくが、必要な経費の10割を市が支援することになっている。

**【高橋委員】**

資料 No1 は令和6年度に行う準備に係る申請であることを承知した。令和7年度の予算については、別途報告があるという認識で良いか。

**【桐山班長】**

その認識で良い。

**【高橋委員】**

地域独自の予算事業として提案するには、9月末が期限であることから、次回の地域協議会は予算規模含め決まった内容が報告されるのかどうか気になったため発言した。

**【高波所長】**

高橋委員が心配されている令和7年度予算については、公共交通に関する予算として要求していく。地域独自の予算事業ではない。交通政策課と協議しながら、必要な経費を10割要求し、運行に支障が生じないようにする。

**【高橋委員】**

地域独自の予算事業でないのであれば、中郷区まちづくり振興会と市で協議を進めていただき、予算については地域協議会で議論しなくても良い。令和6年度は地域独自の予算事業としてスタートしていたことから、令和7年度はどうか気にかけていた。

**【竹内（靖）会長】**

今年度の検証結果を活かせるような内容にしていきたい。

（中郷区さとまる学校理事長の立場で）「(仮称)さとまるバスの運行による検証事業」を受託している中郷区さとまる学校では、運行時間の検討や乗合タクシー運行業者と話し合い、検証運行の第二弾として、令和7年度からの本格運行に近い検証運行が令和6年度中にできるよう準備を進めている。また報告する。

次に、もう1つの地域独自の予算提案事業「子どものい～場所開設事業」について、事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

資料 No2、資料 No3 に基づき説明。

**【竹内（靖）会長】**

チラシについて、誤字は修正いただきたい。そのほか、意見はあるか。

**【桐山委員】**

明るいイラストが使われていて良いと思う。

**【陸川（昇）委員】**

チラシはこれで良いと思う。

**【陸川（陽）副会長】**

二次元コード先のフォームについて、帰宅方法を選択するところがあるが、基本的には保護者に迎えに来てもらうということになっていたと思うが、中郷区まちづくり振興会が送り届けることがあるのか。

**【陸川（昇）委員】**

（中郷区まちづくり振興会理事の立場で）帰宅時も保護者が迎えに来ることが出来れば来てもらうが、中郷区まちづくり振興会が送り届けることも可能である。送り届けた際に保護者が不在となった時の心配はあるが、帰宅予定時間を保護者に伝えておけば良いと考えている。

**【竹内（靖）会長】**

参加する子どもへの配慮が必要な内容について、どんな内容を想定しているか。

**【桐山班長】**

薬の服用時間や体調についての配慮を想定している。

**【竹内（靖）会長】**

今回の事業では大人は見守り程度としていることから責任を取り切れない部分もあると思うため、中郷区まちづくり振興会と、どこまで配慮するのか具体的なところまで詰めていただきたい。別事業では、食物アレルギーについて厳しく配慮していた。

**【陸川（昇）委員】**

（中郷区まちづくり振興会理事の立場で）今回の事業では食べ物の提供はないため、食物アレルギーは発生しない。薬の服用は、個々の責任になるのではないか。喧嘩や怪我をしないように見守り、トラブルが起きてしまったら改善するようにしていけば良いのではないか。

**【高橋委員】**

前回までの協議では、帰宅方法は保護者の迎えが原則で、困難な場合に限り中郷区まちづくり振興会が送り届けることになっていたはずであることから、明確

にしておくべきでないか。二次元コードでの申し込みについても、申し込み先が中郷区まちづくり振興会になっていることを明らかにするべきである。開設場所にはスクールバスによる移動であり、学校も参加者を把握し、この事業に参加しない子どもと分けることになっていたと思うが、学校との関わりが不明瞭である。大切な子どもを預かるうえで、施設管理者のみで見守りが足りているのかどうかも心配である。施設管理者の業務が増えることになるが、その調整もとれているのか確認いただきたい。

**【竹内（靖）会長】**

学校からの移動手段について再度確認したい。

**【桐山班長】**

校門を出た時点から、管理責任は中郷区まちづくり振興会になり、学校は管理監督しない。中郷区まちづくり振興会が校門まで迎えに行き、居場所に連れて行く。終了後は、保護者が迎えに来るか、中郷区まちづくり振興会が送り届けるか、どちらかになる。

**【竹内（靖）会長】**

事務局の説明の通り、学校に負担をかけず、受託先である中郷区まちづくり振興会が責任をもって行う。参加人数によっては、施設管理者での見守りを行いきれない場合もある。協力体制がとれるよう話し合いを進めてほしい。スクールバスの乗車要否の確認も含め、参加者の名簿は学校に確実に渡すようにしてほしい。帰宅も保護者の迎えが原則であり、迎えに来ることが出来ない場合は中郷区まちづくり振興会が送り届ける。第1回目の開設日が間もなくであり、協力依頼がかかる人もいると思うが、地域協議会としても顔を出して協力していただきたい。施設管理者にも通常業務よりも負担はかかると思うため、中郷区まちづくり振興会として顔を合わせて話をしていただきたい。

続いて、アンケートについて協議する。前回の地域協議会で出た参加しない子と保護者へアンケートを取るべきという意見や、アンケートを取る頻度、回収方法について協議をしたい。アンケートの内容は事前配布資料で確認いただいていると思うがどうか。

**【村越委員】**

昨年度の地域独自の予算事業提案時に掲げた数値目標を確認するには、子ども向けのアンケート項目のQ1、Q2、Q3で良いのではないか。Q4の選択肢にテレビが含まれても良い。アンケートの頻度は、毎回取る必要はないと考えるため、最後で良いのではないか。保護者向けにも、この事業が不安解消につながったかどうかを確認する上で、継続を望む声の確認として取れると良い。

**【竹内（昭）委員】**

アンケートの内容はこれで良い。保護者向けに、自由記載欄があると項目以外の意見が聞けるのではないか。アンケートの頻度は、途中から参加する子ども、途中から参加しなくなる子どもいると思うため、最後に総括してアンケートを取れると良い。

#### 【坂田委員】

全学年共通のアンケート内容だと思うが、低学年はそもそも漢字が読めず、言い回しが難しいのではないか。ふりがなや言い方の工夫が必要である。

#### 【桐山委員】

アンケートの回数は、来年度の地域独自の予算事業提案もあるため、9月中に1度でも早めに聞きたいと思う。

#### 【竹内（靖）会長】

坂田委員の発言にあったように低学年への対応を考えると、質問項目が多いと感じる。Q6、Q7は質問内容がくどいと感じる。子ども向けにはシンプルな設問が良いのではないか。低学年の回答は、保護者で行うとか、その場で行うとかになるが、自宅に持ち帰ると回収率が悪くなる可能性がある。参加回数が限られている子への対応はどうか、桐山委員の発言のように前半で結果が欲しいとなった場合にどうやってやるかなど、もう少し相談が必要である。保護者向けの内容は良いと思うが、竹内（昭）委員の発言の通り自由記載欄はあるべき。アンケートに回答してくれる保護者は自由記載も書いてくれる。ただ、保護者についても回収方法が悩ましい。

#### 【陸川（陽）副会長】

前回の地域協議会で、参加しない方へアンケートを取ってはどうかと意見を出したが、参加しない方からアンケートを回収するのは難しいと感じた。参加者の意見をピックアップし、参加しない方からは、可能であれば最後の方にとるとしてはどうか。

#### 【竹内（靖）会長】

参加しない人は、困っていない人であるのだろう。参加しない人にアンケートを取るの難しいため、対面するタイミングでコミュニケーションを取って聞き取るのが良いのではないか。事業実施が落ち着いたタイミングで、保護者に声をかけてやると良いのではないか。

子どもにアンケートを取るタイミングはどうか。

#### 【高橋委員】

参加したその場で回答してもらうのが回収しやすく良いと思う。アンケートを取る時は施設管理者だけに任せるのではなく、サポートが必要である。参加しなかった子どもへのアンケートは不要ではないか。令和4年度に行った中郷区住

民アンケートで、15歳以上の方からの回答に子どもの居場所に関する要望が多かったことから、保護者に取れば良いのではないかと。

**【竹内（靖）会長】**

子どもへのアンケートは、中郷区まちづくり振興会と地域協議会も協力し、特に低学年のサポートをしながら参加した場所で回答してもらい、その場で回収することにする。アンケート内容は、私と事務局と中郷区まちづくり振興会で相談し、シンプルに回答できるようにする必要がある。9月9日（月）の初回から子どもの回答を集められるようにする。保護者には、参加した子ども経由で配付する。次回参加する場合は、子どもが持ってくる方が良いが、参加しない場合はどうしたら良いか。最後に学校経由で配付し、回収することとして良いか。

**【尾崎委員】**

アンケートもフォームにしてはどうか。

**【桐山班長】**

フォーム化は可能である。

**【尾崎委員】**

フォームとなっていた方が回答しやすいのではないかと。フォームとなっている方が、取りまとめも楽だと思ふ。

**【竹内（靖）会長】**

令和4年度の中郷区住民アンケートもフォームを使用した。保護者がフォームに回答してくれるかどうかは心配である。紙で期限をつけて学校に提出とした方が回収率は良いのではないかと。

**【村越委員】**

フォームが回答しやすいと思ふ。出さない人は紙だとしても出さない。

**【竹内（靖）会長】**

フォームとして良いか。（領きにより承認）保護者向けのアンケートは、全ての開設日が終わってからフォームで行う。事務局はどうか。

**【桐山班長】**

協議を聞いたうえで、来年度の地域独自の予算事業提案も見据えて、9月に一度アンケートを取るべきだと考える。その内容を来年度に少しでも繋げられる部分があると良い。9月9日（月）は子どもも保護者も一度アンケートを取るとしてはどうか。保護者については、参加した子どもの保護者と参加していない子どもの保護者の両方の意見を聞くべきとなったため、事業の最後にフォームを使って全員に対してアンケートを取っても良いと考える。



**【竹内（靖）会長】**

保護者にも9月にアンケートを取るということか。

**【桐山班長】**

可能な範囲で保護者にもアンケートを取りたい。二次元コード化した紙を子どもに持たせても良いのではないか。

**【陸川（陽）副会長】**

回答を急いで集めるのであれば、フォームによるアンケートが効果的である。アンケート回答の依頼文と二次元コードだけといったシンプルな記載内容で、保護者の迎え時に配付すれば早く確実にやってもらえるのではないか。

**【竹内（靖）会長】**

初回と最後でアンケート内容の密度は異なると思う。初回のアンケートで重い内容にしたくない。仮に初回の参加者が2、3人しかいなかった場合、その保護者の意見は令和7年度への影響力はない。広く意見を引き出すことが大切である。検証結果が十分に出ていない状態でも、令和7年度の地域独自の予算事業に提案することは決めている。1回目、2回目に出た意見を反映させるのは難しいと思う。保護者には中途半端な状態でアンケートを取るべきではない。

**【陸川（昇）委員】**

保護者は実際の開設状況を見ているのではなく、子どもから話を聞くのみであることから、2、3回開設後にアンケートを取るべきではないか。次年度に早急に反映させたいなら、早くアンケートを取るのに越したことはない。

**【竹内（靖）会長】**

いずれにしてもフォームで回答を集めることにするが、2、3回開設してみてもから保護者にアンケートを取ることにして良いか。（領きにより承認）そのようにする。内容は、保護者向けは自由記載欄を入れ、子ども向けは分かりやすい文言に整理する。中郷区まちづくり振興会と内容を詰め、地域協議会委員も協力しながらアンケートを取ることにする。

**【桐山班長】**

令和7年度の地域独自の予算事業提案についても協議していただきたい。資料No4は、令和6年度の地域独自の予算事業提案に向けて、地域協議会で話し合った内容をまとめ、予算要求のために市で取りまとめたものである。これを基に、9月末の提案期限に向けて見直す内容を協議していただきたい。

**【竹内（靖）会長】**

これから行う事業であり、事業実施後の分析は難しいが、開設回数は増やせないと考えている。

**【陸川（昇）委員】**

実施結果が出ていないため、今年度と同程度の規模で良いのではないか。

**【竹内（靖）会長】**

各事業が重なる 8 月や年度当初から行うのは困難であるため、2 学期からで良いのではないか。

**【桐山委員】**

やってみないと分からない部分が多い。

**【竹内（靖）会長】**

基本的には今年度と同じ内容で良いか。

**【陸川（昇）委員】**

同じで良い。予算は用意しておき、提案後に事業を進める中で出てきた意見を実施の段階で取り入れることとしてはどうか。例えば、アンケートに宿題をやりたいという意見が出てくれば、教えることができる人を用意しておく必要が出てくるが、それを今から組み込むことは難しい。同じ内容を用意した状態の中で、できる範囲で進めることになるだろう。

**【竹内（靖）会長】**

送迎についても、バス通学との兼ね合いからスクールバスは使えず、車両レンタルが必要になるが、その点についても良いか。

**【高橋委員】**

中郷区まちづくり振興会との協議した中で進むのであれば良い。8 月には、子どもの居場所となる別の地域独自の予算事業があることから、6、7 月の 2 回程度を増やして要求しても良いと考える。参加人数がどの程度になるかも分からないが、いずれにしても、実施団体となる中郷区まちづくり振興会と市がしっかりと協議することが大切だと感じる。

**【竹内（靖）会長】**

6、7 月に開設日を増やすことは、中郷区の夏のイベント前であり、今の中郷区まちづくり振興会の事務局の体制を考えると無理がある。この事業をやることで、一部の人に過度な負担が及ばないように体制を整えてから、回数を増やす検討をするべきである。また話し合いをして検討していきたい。

**【陸川（昇）委員】**

すぐに決めなければならない事項ではなく、我々が決められることではないため、中郷区まちづくり振興会と相談して、回数を増やせるのであれば増やすこととするべきである。

**【竹内（靖）会長】**

令和7年度の地域独自の予算事業提案については、今年度同等でどうか。

**【桐山班長】**

今一度検討していただき、次回の地域協議会でどのような地域独自の予算事業提案をするのかまとめていただきたい。次回の地域協議会は提案期限間近であり、12人で話し合うと時間がかかってしまうことから、前回の地域協議会で意見のあった少人数の検討委員会のようなものを作っただけなのであれば、そこで素案を作成し、その後地域協議会の場で最終確認をしていただくのが良いと考えるが、どうか。

**【竹内（靖）会長】**

少人数で改めて協議すべきことはないと思う。

**【桐山班長】**

地域独自の予算事業の提案期限が9月末であり、次回の地域協議会開催日も9月下旬となることから、次回の地域協議会では提案内容を確認していただくこととして良いか。

**【竹内（靖）会長】**

内容を追加するのであれば協議の必要はあると思うが、そうではないため、提案内容を確認することとして良い。

**【桐山班長】**

先ほどの発言のように、再度検討していただく時間を設けると、改めて確認の時間を設けなければいけなくなり、時間が足りないように感じる。

**【陸川（昇）委員】**

実施団体が中郷区まちづくり振興会であることから、中郷区まちづくり振興会と相談を進めるべきでないか。地域協議会で協議しても、中郷区まちづくり振興会が実施できないとなっても良くない。

実施内容は同じで良いと思うが、今後は4月や5月といったもう少し早い時期にも開設してほしいという意見も出てくると思う。その意見は、令和8年度に向けた協議につながると思う。令和7年度の提案については、中郷区まちづくり振興会と事務局が相談すべきである。

**【竹内（靖）会長】**

そのように進めることとする。

1回目の開設日には、地域協議会委員も都合を付けて参加してほしい。現場を見て、どうするか相談もしたい。その他意見はあるか。（なし）

次に協議事項の3つ目、視察研修について、事務局に説明を求める。

**【桐山班長】**

資料 No5 に基づき説明。審議事項など、目的に合わせて行き先を決めてほしい。

**【竹内（靖）会長】**

目的を持って視察研修を行っている。昨年度はコロナや移動距離の兼ね合いもあり、創造行政研究所から講演していただき、それが現在計画中の中学生を対象に行うレゴワークショップにつながった。そのような研修も可能である。新しい委員からも行先の提案があれば、事務局に相談していただきたい。

**【桐山委員】**

新潟市の沼垂テラス商店街という、魅力あるまちづくりの観点で体験工房やおしゃれなカフェがある長屋の商店街がある。そんな雰囲気のお店が中郷区にもできたら良いと考えている。中郷区にもおしゃれな雰囲気のお店があるが、そんな店が増えると魅力的になると考えている。たたずまいが綺麗だったり、映えるお店があったりする。参考にしたいと考えている。ウェブサイトを管理する事務局や案内できる人もいて、整っている。

**【竹内（靖）会長】**

桐山委員の意見は以前聞いており、駅前商店街をにぎやかな街にしたい思いを持っていると話していた。魅力的であるが、少し距離がある。他の委員はどうか。

**【尾崎委員】**

漠然としているが、高齢者や子どもが携わる活動場所があれば見てみたい。

**【坂田委員】**

以前から中郷区内の空き家について問題を感じている。空き家を活用している場所に視察に行ってみたい。

**【村越委員】**

沼垂テラスは私も行ったことがあり、良い場所である。

飯綱町に廃校になった2つの小学校を活用した事例がある。十日町市にも旧小学校でキャンプやグランピングができる施設もある。いずれもお金をかけてリノベーションしているが、活かされているのか、過疎化している地域でうまくいっているのか気になる。旧岡沢小学校や旧片貝小学校の活用につながるのではないかと。

**【竹内（靖）会長】**

旧岡沢小学校は収蔵施設になっていたり、旧片貝小学校を芸術の拠点として活用したい話も出ていたりすることから、興味深い話である。

**【陸川（陽）副会長】**

距離が近い所で、実施時期を調整していただけると有難い。廃校になった小学校を活用している事例はいくつかあるが、若者が楽しめる施設を中郷区に作れると良いと思うので、その先進事例を見ることができると良いと思う。

**【竹内（靖）会長】**

飯綱町はどんな場所なのか。

**【村越委員】**

宿泊施設になっており、体育館や食堂を合宿で使えるようになっている。ただ、人がいるイメージがあまりないため、活用されているのか気になっている。

**【陸川（昇）委員】**

普段自分が考えていないことへの提案が聞けた。私自身は、農業を活性化させていきたい思いがある。現在、日本曹達株式会社本社へ米販売のアピールもしている。中郷区の特産物を作り、廃校になった学校を活用して、特産物を売るカフェにするのも良いと思う。

**【竹内（昭）委員】**

駅前商店街を発展させる発想は面白いと思った。昨年度の研修で聞いた、地域を活性化させる方向も面白いと思った。今後は中郷区も人口が減る一方になるので、仕掛け人がいて地域を活性化させている場所で、距離が近い所があれば参考としたい。

**【高橋委員】**

「子どもの い～場所開設事業」につながる事例として、富山市の隣にある村を事務局に提案している。下調べは事務局で行っていると思うため、次回の地域協議会の場に出てくるのではないか。村越委員から廃校活用の提案があったが、廃校になった小学校を芸術村などにリニューアルしたいという話もあったので、旧片貝小学校を活用できると良いと思う。以前提案した時は消防法による制約の話もあったようだが、改善に向けて協議が進むと良いと思う。

**【竹内（靖）会長】**

一通り委員の意見を聞いたが、移動距離を考え、沼垂テラスは有志で行くこととする。そのうえで、廃校を活用した飯綱町の情報がもう少し欲しい。研修から戻った後も、行ったきりとせず、意見交換をしたい。旧片貝小学校を芸術の地としたい若者は今もそう考えているため、それを実現させるのも地域協議会としての使命であると考え。旧岡沢小学校が収蔵施設となっていることについて、地域協議会で協議したことも過去にはある。時期は、11月後半から12月初旬で計画したい。今回欠席の委員にも意見を聞く。

本日の協議は以上である。各協議事項についてまとめる時間をいただき、逐次報告する。

出席の職員から連絡はあるか。(なし)

その他に移る。

#### 【桐山班長】

名刺の配付と確認。

4区(板倉区、牧区、清里区、中郷区)地域協議会委員合同研修会について連絡。

#### 【竹内(靖)会長】

次回の地域協議会は、9月の第4月曜日は祝日であることから、9月24日(火)とする。午後6時から中郷コミュニティプラザで行う。

会議閉会后、陸上自衛隊関山演習場と中郷区との関わりについて協議する。

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

#### 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。